

6 学年の実践

1. 単元名 大蔵川の流れと共に変わってきた大蔵のまち ～大蔵のまちの未来予想図～

2. 指導観

- 本単元は、「現在」「過去」「未来」の3部構成で進めていく。

「現在」の学習では、これまで総合的な学習の時間や生活体験の中で感じてきた「大蔵のまちの魅力」をテーマにパンフレットを作ることで、「現在」の大蔵のまちのよさを再確認させることができると考えられる。

「過去」の学習では、大蔵のまちの歴史を調べていき、次に、大蔵のまちの歴史との関連性を探るために、社会科で学習している日本の全国史や北九州市史を調べていく。体系的にまとめていくことで、現在の自然を守ったり人々のつながりを形成してきたりした、地域の先人たちの努力に尊敬の念を抱かせることができるのではないかとと思われる。

「現在」や「過去」を学んだ後、この地域で受け継いでいくべき「魅力」と変えていかなければいけない「課題」を自分自身の中でしっかりと考え、理想とする大蔵のまちの「未来」を考えていく。未来を実現させるために、今、自分がしなければいけないことは何かを考え、自分達が伝えたいことを伝えるためには、行動を起こすことが必要であり理想の実現に向けて大切であることを感じる事ができるのではないかと気付くと思われる。

このように「現在」「過去」を調べることで、大蔵のまちを改めて見つめ直し、理想とする「未来の大蔵のまち」にするために、今、自分たちができることを考え実際に行動することで、「ふるさと大蔵」を愛し誇りをもつ子どもに育つことをねらいとしている。

- 指導にあたっては、大蔵のまちの魅力やよさを味わわせるために、単元構成の工夫をし、一人一人の子どもの確かな問題解決力を育成するために、学習課程の各段階において次のような具体的な手だてを講じる。

① 第一次・・・子どもの思いや思考の流れに沿った単元づくり【手立て1】及び各教科・領域での学習を生かした言語活動の組み入れ【手立て2】

「つかむ」の段階では、「現在」の大蔵地域を取り扱う際に、児童が意欲をもって追求し続けることができるように、自分たちの生活の場でもある「大蔵のまち」について、今までの総合的な学習の時間や生活経験などから、どのようなイメージや思いをもっているかの自己再確認するために、ウェビングをさせる。そしてイメージした「大蔵のまちのひと・もの・こと」の中で、「大蔵のまちの魅力」として知らせたいと思う事柄を選ばせ、グループでのパンフレット作りをしていき目的意識をもたせるようにする。「さぐる」の段階のパンフレット作りでは、国語科と合科的に取り扱い、「大蔵のまちの魅力」を伝えるための構成について考え、意欲的に書き進めることができるようにする。「伝え合う」の段階では、完成後、パンフレットを互いに読み合い、よさを認めながら構成や記述などの表現の仕方に着目して「大蔵のまちの魅力」が伝わるかどうか評価し合う活動を通して、言語活動の充実を図ると共に大蔵の魅力について考え直したり深めたりさせる。

「生かす」の段階では、改めて「大蔵のまちの魅力」を見つめ直すと共に、大蔵のまちの魅力がどのように維持・形成されてきたかを想像させたり考えさせたりすることで、大蔵のまちの歴史に興味・関心をもち、地域の歴史を調べるといった意欲の持続と問題意識をもたせながら、次の活動へとつなげていくようにする。

② 第二次・・・体験活動に効果的な人材活用【手立て1】及び「整理・分析」「まとめ・表現」といった過程での協同的活動の重視【手立て2】

「つかむ」の段階では、前次のまとめの段階で児童の中に新たな疑問や問題が芽生えているので、導入時にはその問題意識が継続していくようにするために、「現在」の学習をふり返り大蔵のまちの昔はどうだったかを調べていく学習をしていくことを確認し、今後の見通しをもたせるようにする。また「大蔵のまちの歴史年表を作る」といった、学習の終わりに全員で調べてまとめたものを集約していくとイメージしやすいゴールを設定し、協同的活動が続きやすい環境をつくる。「さぐる」の段階では、テーマ別のグループ編成をする。まず一人調べをして、情報を一人一人が持つておくようにし、その後グループで情報を共有させる。次にもっと調べたいことや未だわからないことについて整理し、協同して調べ活動を行っていくようにする。調べ活動の途中で大蔵の歴史や郷土に関して詳しい地域の方をお呼びして、もっと知りたいことや解決できていないこと、大蔵のまちの歴史を通しての思いや願いなどを尋ねたりお聞きしたりする機会を設け、地域の方の存在の大きさを感じさせ、新たな課題や活動の方向性を見いだしていくことができるようにする。情報収集は様々な情報ツールから得るようにさせる。グループで協力して必要な情報の入手先や入手方法を検索したり、収集した情報の蓄積や取捨選択をさせたりするようにし、次の段階で効果的に活用できるようにする。「伝え合う」段階では、調べた大蔵のまちの歴史についてまとめたことを集約させるために、ゴールである「大蔵のまちの歴史年表作り」をしていく。この活動は、地域の方から聞き取ったことや、社会科「日本の歴史」で学んだことなどの情報を比較・分類したり、関連させたりしながら学習を進めていくことができる。まとめる際は、事象のみを取り扱うのではなく、そのときの地域の先人の思いや願いを想像の範囲でも考えさせるようにすることで、大蔵のまちや人々に対する愛着心・郷土愛をもたせたい。また紙面だけでなく、グループで役割分担し、作った年表を見せながら発表させる。「生かす」では、大蔵の歴史調べや歴史年表作りをふり返り、大蔵の歴史をつくってきた方々に対して親しみや尊敬の念を抱かせ、今後の大蔵のまちの明るい「未来」を考える学習への意欲を高めさせるようにして、次の活動への目的意識をもたせるようにする。

③ 第三・四次・・・コミュニケーションを通して学び合う活動の重視【手立て2】及び学年の段階に応じた具体的な子どもの姿の明確化【手立て3】

第三次の「つかむ」の段階では、第二次と同様に前次のまとめの段階で児童の中に新たな疑問や問題が芽生えているので、導入時にはその問題意識が継続していくようにするために、「現在」「過去」の学習をふり返り、大蔵のまちの「未来」について考えていく学習をすることを確認する。「未来」の学習では、「魅力」を残し「課題」を解決した理想の大蔵のまちの「未来」をイメージさせるために、「大蔵のまちの未来予想図」として絵や文で表現させ、自分の考えや思いとしての「理想」を明確にさせる。そして、その「理想」である「大蔵のまちの未来予想図」に向けて実際に行動を起こしていく活動に取り組もうという課題意識をもたせる。そのために、「大蔵のまちの未来予想図」の実現または少しでも近づかせるためには、自分達が知り得た「魅力」や「よさ」、そして現在も残っている「課題」について知ってもらうことが必要であり、今後につながるということを認識させる。方法として、児童の中から出てきた様々な活動案をGTの方に聞いていただく。そして出てきた活動案の中から「楽しくてわかりやすい」今まで経験のない「検定」というアイデアを選んだり提示したりしていただき、活動への意欲を図り今後の見通しをもたせるようにする。「さぐる」の段階では、広報活動として12月にある「大蔵小学校100周年記念式典」の中で、今まで学習したことや「大蔵ふるさと検定（仮称）」の活動をしていくことの紹介をすることを伝え意欲の持続を図るようにする。「伝え合う」の段階で

は、「大蔵小学校100周年記念式典」事前プレゼンテーションを100周年実行委員の方の前で行い、このような内容・報告で自分達の思いは伝わるのかアドバイスをいただく。「生かす」の段階ではアドバイスをもとに修正し準備を進め、式典の中で発表・紹介をする。

第四次の「つかむ」「さぐる」の段階では、「大蔵ふるさと検定（仮称）」の実施内容や実施方法を話し合う。そして実施のための具体的な計画を念入りにさせ、協同的な探求活動が続きやすいようにすると共に、主体的に活動させるようにする。「大蔵ふるさと検定（仮称）」の本番を2月の土曜日授業の中で「餅つき大会」と共に実施することを告げて、本格的な検定準備に取りかからせていく。検定内容は、今までの学習が生かせるように、また自分達が理想とする「大蔵のまちの未来予想図」への思いなどを盛り込ませながら作成してきょうにする。完成した検定問題は、信頼性があるものかどうかを、地域の方や様々な機関に見ていただき確認をお願いする。「伝え合う」の段階では、「餅つき大会」と共に「大蔵ふるさと検定（仮称）」を実施する。このような経験を通して、地域の方とコミュニケーションを自らとったり、進んで行動したりすることの大切さを体感できるのではと思われる。「生かす」の段階では、「大蔵ふるさと検定（仮称）」及び「餅つき大会」の成果について話し合い、「大蔵の未来予想図」実現に向けて自分達の活動は「未来」のために役立ったかどうかをふり返る。今までの活動をふり返り、地域の方をお呼びしたり一緒に活動したりする行事を成功させた児童は、自信や自己肯定感と共に、地域に住み形成する一員として、これからの大蔵のまちづくりへ参画するための一歩となるようにする。

3. 単元目標

問題解決への 関心・意欲・態度	○ 大蔵の「ひと・もの・こと」に親しみをもち、より「魅力的な大蔵のまち」にするために自分の考えをはっきりとさせ、進んで調べて計画したり実行したりしようとする。
学び方や 問題解決の力	○ 大蔵のまちの今の魅力や歴史、そして理想の未来像に向けた活動といった目的を明確に持ち続け、調べ活動の計画に沿って、調査したり地域の方にインタビューをしたりすることができる。 ○ 必要な情報を効果的に収集・選択して、「整理・分析、まとめ・表現」といった活動ができ、さらに計画の見直しや修正を行いながら追究・探求活動の充実を図ることができる。
考える力・表現力	○ 大蔵のまちがどのように発展して「現在」に至ったのか、また今後、どのようなまちづくりが必要であるか、地域の「ひと・もの・こと」との関わりを通して、相手意識・目的意識を明確にした表現の工夫をしたり、よりよいまちづくりについて考えたりして、調べたことを自分の言葉で説明することができる。
自分への 気付きと生き方	○ 大蔵のまちをつくってきた方々に対する尊敬や親しみをもち、その思いや願いをふまえ、地域の一員として自分にできることを進んで考え実行しようとする。 ○ 大蔵のまちに親しみ愛情をもって取り組んだことから、自分の成長を自覚し、「ふるさと大蔵」をこれからも大切にしようという意識をもつことができる。

4. 学習指導計画（総時数 70時間）

	主な学習活動	教師の支援	評価の観点・方法
	第1次 大蔵のまちの「現在（今）」の魅力をパンフレットにまとめよう。		
つかむ	<p>1. 「大蔵のまち」からイメージできることを話し合い、自分のテーマを決める。③</p> <p>(1) 「大蔵のまち」からイメージできることを出し合う。</p> <p>(2) 「大蔵」からイメージすることについて各自でウェビングをして発想を広げる。</p> <p>(3) ウェビングで出てきた事象の中から各自で「大蔵のまちの魅力ベスト3」を決める。</p>	<p>○ 3年生から5年生までの学習を想起させ、視野を広げるようにする。</p> <p>○ 「大蔵のまち」からイメージできることを挙げさせ、そのよさを「魅力」として話し合わせるようにする。</p> <p>○ 各自でウェビングをさせて、これまでの学習や日常生活の中で認識している大蔵の「魅力」を再認識させるようにする。</p> <p>○ ウェビングで出てきた事象を「ひと・もの・こと」に色分けさせ分類させることで、自分の意識がどんな分野に向いているのか認識させるようにする。</p> <p>○ 各自に選ばせた、興味ある3つの事象を基にして、教師がグループ作りをすることを告げておく。</p>	<p>【関】大蔵の「ひと・もの・こと」について、進んで考えようとしている。</p> <p>・今までの学習を想起したり経験をふり返ったりしながら、大蔵のまちの「魅力」についてウェビングに書き込んでいる。</p> <p>・ウェビングに書かれた中から、自分にとっての「魅力」である「人・もの・こと」を意欲的に考えている。（発言内容・ワークシート）</p>
さぐる	<p>2. グループでテーマに基づいて情報を集め、パンフレット作りをする。⑨</p> <p>(1) 調べ方について話し合う。</p> <p>(2) グループごとに情報を集める。</p> <p>(3) A3用紙2枚に下書きをする。</p> <p>(4)パンフレットを清書し完成させる。</p>	<p>○ それまでの学習やインターネット、身近な人へのインタビューなどで得た情報から、「他の地域の方に紹介する」という視点で必要な情報を集めさせるようにする。</p> <p>○ 国語科の学習を生かし、グループで取材・構成・記述という一連の活動をさせながら完成に向かわせるようにする。</p>	<p>【学】大蔵のまちの「魅力」について、グループでまとめるという目的や相手を意識したパンフレット作りをしている。</p> <p>・グループのテーマに基づいた必要な情報を収集したり、まとめたりすることができる。（行動観察・パンフレット用紙）</p>

<p>伝え合う</p> <p>生かす</p>	<p>3. 「大蔵の魅力」について話し合う。 ③</p> <p>(1) 完成したパンフレットを読み合い、「大蔵の魅力」について再構築する。</p> <p>(2) 「大蔵の魅力」がどのようにつくられたり維持されたりしてきたのかを想像し次の学習につなげる。</p>	<p>○ グループごとに読み合い、大蔵のまちの魅力を分かりやすくまとめられているか等、互いによりよくするためのアドバイスをさせるようにする。</p> <p>○ でき上がったパンフレットを互いに読み合いよさを認めながら感想を交流して、大蔵の魅力について考え直したり深めたりさせるようにする。</p> <p>○ 魅力にあふれた現在の大蔵のまちがどのようにできたのか、その歴史に興味をもたせるようにして、次の学習に意欲をつなげるようにする。</p>	<p>【関】大蔵の魅力を再確認すると共に、大蔵のまちの魅力がどのように形成されてきたか、その歴史に関心をもつことができる。</p> <p>・地域の歴史を調べるという次の学習への意欲をもっている。(行動観察・態度)</p>
<p>第2次 大蔵のまちの「過去」を調べ、その歴史をまとめよう。</p>			
<p>学習問題① どのような歴史のもとで現在の「魅力ある大蔵のまち」があるのか「過去」を調べて、「大蔵のまちの歴史年表」を作ろう。</p>			
<p>つかむ</p>	<p>1. 今の大蔵のまちがどのように形成されてきたのかを話し合い、今後の学習の見通しをもつ。 ④</p> <p>(1) 第1次で学習したことをふり返る。</p> <p>(2) 「大蔵のまちの歴史」について知っていることを出し合う。</p> <p>(3) さらに詳しい年代や内容、未だ知らない地域の出来事について全体で調べる計画を立て、テーマ別のグループに分かれる。</p>	<p>○ 大蔵のまちの「現在(今)」の魅力をパンフレットにまとめたことをふり返り、今後の学習では、今の大蔵のまちが昔はどのようなまちであったかを調べる学習をしていくことを確認することで、今後の見通しをもたせるようにする。</p> <p>○ 大蔵のまちの歴史で、「ひと・もの・こと」を視点として「知っていること」「知らないこと」「さらに知りたいこと」などを発表させ、全部で12項目の内容にまとめてい</p>	<p>【関・学】課題解決のための目的や方法などを考えたり話し合ったりし、活動の見通しをもつことができる。</p> <p>・自分が調べるテーマを選択することができる。(発言・ワークシート)</p>

《考えられるテーマ》

- ・ 史跡（乳山神社、勝山神社）
- ・ 以前の大蔵村（国境・長崎街道）
- ・ 官営八幡製鉄所（人口の推移）
- ・ 河内貯水池（大蔵川の水量）
- ・ 戦争（満州事変，第2次世界大戦）
- ・ 八幡町，八幡市制定，五市合併
- ・ 公害克服（洞海湾・大蔵川）
- ・ 大蔵 川を守る会（クリーン作戦）
- ・ 大蔵小学校（名称・校舎・児童数）
- ・ 市民センター，見守り隊 など
- ・ 北九州大水害
- ・ 年代別年齢別人口・・・など

(4) テーマ別のグループで，今後の調べ活動のための学習計画を立てる。

2. グループで調べるテーマについて，友達と協力して調べ活動を行う。 ⑧

(1) 必要な情報を集めていく。

- ・ 図書書物（資料）
- ・ インターネット
- ・ 校長先生への聞き取り
- ・ インタビュー

(2) 自分達で調べたことや校長先生から聞き取ったことをワークシートにまとめる。

くようにする。

○ テーマについて児童から出ない場合を考え，事前に教師が12の項目は考えて準備しておく。

○ グループ編成時に児童の希望に偏りがある場合は，人数の調整やテーマの増減等をする。

○ 調べる方法やインタビュー計画など考えを出し合い，具体的な学習計画を立てさせるようにする。

○ 調べ活動をする前にグループのテーマについて，様々な出来事に対する当時の人々の思いや願い，行事や史跡が今も続いたり残ったりしている理由などを自分なりに予想し，調べ活動への意欲が高まるようにする。

○ テーマ別のグループで協同して調べ活動を行わせるようにする。

○ 調べる際は，起こった事象だけでなく，年号も確認をさせるようにする。

○ インターネットを使う際は，目的をはっきりさせたり，検索するキーワードを精選させたりするように注意する。

○ 現時点で集めた情報をワークシートにまとめ整理させることで，わかったこと・未だわからないこと・さらに調べたいことなどをはっきりとさ

【考】 当時の人々の思いや願い，行事や史跡が今も続いたり残ったりしている理由などを自分なりに予想することができる。

・ 調査活動の目的を明確にもちながら，同じグループの友だちと協力して計画を立て，探求の見通しをもっている。（発言・ワークシート）

【関】 計画に沿うように，必要な情報を収集・選択し調べ活動を行っている。

・ 目的にあった方法を選び，意欲的に情報を集め課題を追究している。

・ 目的を明確にもち続けて探求活動をすることができる。（行動観察・ワークシート）

【学】 集めた情報を比較・分類したり，関連づけたりしながら活用できる。

・ 校長先生や地域の方から聞き取ったことをメモし

<p>伝 え 合 う</p>	<p>(3) 地域の方（土佐野さん）にインタビューをする。</p> <p>(4) 聞き取ったことをワークシートに整理しながら、次のインタビューの計画を立てる。</p> <p>(5) 地域の方（芳賀さん）から、大蔵小学校やその周辺で起こった出来事、生活の様子の変化などについてのお話を聞く。</p> <p>3. 調べたことをグループで整理してまとめ、発表する。</p> <p style="text-align: center;">⑥</p> <p>(1) 調べてわかったことの情報整理をする。</p> <p>(2) 発表原稿や提示資料を作り、発表の練習をする。</p> <p>【発表内容のポイント】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・興味深く聴くことができる。 ・正確な事実に基づいている。 ・最後に感動が残る。 </div> <p>(3) グループごとに発表し、感</p>	<p>せ、次のGTへのインタビューする活動への目的意識をはっきりとさせてインタビューの計画を立てるようにする。</p> <p>○ GT（土佐野さん）には、グループ（テーマ）ごとに質問を受けていただき、その場で回答していただいたり、資料を紹介していただいたりするように、事前をお願いしておく。</p> <p>○ 質問する際は、何を知りたいのか、誰が何を聞くのかをグループではっきりとさせて取り組ませるようにする。</p> <p>○ GTの芳賀さんには、子ども達を知りたいこと（調べたいこと）をお知らせしておく。</p> <p>○ 自らの体験を語っていただき、その後、子ども達からの質問も受けていただくようお願いをする。</p> <p>○ 調べたことを年表の形で整理しながら、大蔵のまちのエピソードが全国・北九州市の歴史とどのように関係しているか考えさせながら整理しまとめさせていくようにする。</p> <p>○ 調べたことをまとめる際は、調べてわかった出来事のみを発表するのではなく、それぞれの出来事に対する地域の方の思いや過去の方の思いを書いたり想像したりしてまとめさせるようにする。</p> <p>○ まとめた内容が、聞き手にとってどのようなものであればよいのか、自分達が伝えたいことがしっかりと伝わるのかを押さえておく。</p> <p>○ 発表では、模造紙で作った</p>	<p>たりワークシートに整理したりしながら蓄積し、発表原稿を作る際に活用できるようにしている。</p> <p>(ワークシート、質問内容)</p> <p>【考】 調べたことを明確に表現するために、効果的な組み立てを考え発表している。</p> <p>・発表したいことを、グループで話し合いながら、目的や条件に合うものを取捨選択して活用している。(行動観察・資料)</p> <p>【関】【考】 お互いの発表に興味・関心をもって聞いている。</p> <p>・自分達の思いや考えが伝わるように表現を工夫して準備し、発表することができる。</p>
----------------------------	---	--	--

生 か す	<p>想を出し合う。</p> <p>4. 大蔵のまちの歴史について話し合う。 ②</p> <p>(1) グループごとに発表した大蔵のまちの歴史についてふり返える。</p> <p>(2) 大蔵のまちの未来について考える。</p>	<p>年表や必要な資料を見せながら発表させるようにする。</p> <p>○ メモを取りながら聴き、後から質問や感想が言えるように準備をさせるようにする。</p> <p>○ 大蔵のまちは、「過去」の中で様々な歴史がつくられ「今」があるということに気付かせ、今後、大蔵のまちの未来をどのようにしていきたいか考えていこうと投げかけ、次の学習に意欲をつなげるようにする。</p> <p>○ 「60周年誌」に掲載されている6年生の作文を用いて、40年前に書いている「理想の大蔵のまち」が、現在は実現化していることもあったり問題もあつたりしたことを知ることで、次の活動目標である学習問題を考えさせるようにする。</p>	<p>・友達の発表を聞きながら大蔵の歴史について、自分の考えや感想を述べている。(行動観察・発言・ワークシート)</p> <p>【関】大蔵の歴史が過去の人々によってつくられてきたことに気づき、今後の未来について関心をもつ。</p> <p>・大蔵のまちの未来を考えていこうという、次への学習の意欲をもっている。(行動観察・発言)</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習問題② 大蔵のまちの素晴らしさを「未来」にもつなげるために、自分達にできることを考え活動しよう。</p> </div>		
つ か む	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>第3次 私達が目指す大蔵のまちの「未来」について予想し、その実現のためにできることは何かを考えよう。</p> </div>		
	<p>1. 「大蔵のまちの未来予想図」を考え、その実現のために自分達は何をすればよいのか、できることは何かを伝える方法を考える。⑤</p> <p>(1) 大蔵のまちの「現在」や「過去」について学習したことを想起して、その「魅力」と「課題」について話し合う。</p> <p>(2) 「魅力」を残し、「課題」解決した理想の大蔵のまちの「未来」をイメージし、「大蔵のまちの未来予想図」と</p>	<p>○ 自分の考えをワークシートにまとめた後に班で意見を出し合い、学級全体で話し合わせるようにする。</p> <p>○ 一人一人が理想とする「大蔵のまちの未来予想図」をワークシートに絵や文でまとめさせるようにする。</p>	<p>【関】これまでに学んできた「現在」と「過去」の学習から、大蔵のまちの「未来」を考えることができる。</p> <p>・これまでの学習で見えてきた大蔵のまちの「魅力」と「課題」について、知識や情報を生かして大蔵のまちの「未来」を予想し、絵や文でまとめることができる。(ワークシート・発言内容)</p>

	<p>して、絵や文で表現する。</p> <p>(3) 「大蔵のまちの未来予想図」を公表し、実現に向けての課題意識をもつ。 〈本時〉</p> <p>(4) 「大蔵のまちの未来予想図」を実現させるためにはどうしたらよいか、活動内容について話し合う。</p> <p>(5) 活動案をG Tの方に提案してアドバイスをいただき、活動内容を決める。</p>	<p>○ まとめる際は、「自分たちができるものか」「ある程度の期間（年月）でできるものか」など、実現可能なものであるかどうかしっかりと考えさせていくようにするが、困難であったり理想的なことを出したりしても認め、子どもの意欲を持続させるようにする。</p> <p>○ 自分が考えた「大蔵のまちの未来予想図」を提案し、グループで共通点やキーワードになる言葉などを話し合わせるようにする。</p> <p>○ 班の代表者が話し合いで出た意見を公表して学級全体で共有化し、理想の「大蔵のまち」にするために、今の自分達にできることは何かを考えていくことが大切であることに気づかせるようにする。</p> <p>○ 「大蔵のまちの未来予想図」のように少しでも近づけるためには、自分達が知り得た「魅力」や「よさ」、そして現在も残っている「問題点」について、地域の方に知ってもらうことが必要であり、今後につながるということに気付かせることで児童間での共通理解・共通意識がもてるようにする。</p> <p>○ 今回の活動内容は、「『地域参加型』の活動」ということをポイントとして考えていくことを告げ、方向性をしぼって考えさせるようにする。</p> <p>○ G Tの方には、予め「大蔵ふるさと検定（仮称）」について話をしておき、児童が出した活動案の中から、「楽しくてわかりやすい」という視点で考えれば「大蔵ふるさと検定（仮称）」のような活動がよいと助言をいただくようお願い</p>	<p>【考・表】 自分の理想とする「大蔵のまちの未来」を班や学級全体で共有化し、実現にむけての課題意識をもつことができる。</p> <p>・「大蔵のまちの未来」について自分の考えをもち、意欲的に考えたり発表したりしている。（発言内容・行動観察）</p> <p>【学】 自分達の考えた理想を実現させるための活動内容や、今後の方向性を理解することができる。</p> <p>・「大蔵のまちの未来予想図」を実現させるためにG Tの方に自分達の活動案を提案し、アドバイスをいただいたことを基に効果的な活動内容を決め、どのような発信や活動をすればよいか理解している。（発表内容・発言・ワークシート）</p>
--	--	---	---

<p>さ ぐ る</p>	<p>2. 今までの学習を基に「100周年記念式典」に向けての実施計画を立てる。②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「100周年記念式典」で紹介する内容を話し合う。 (考えられる内容) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○今までの学習の紹介 ・「現在」(大蔵のまちの「魅力」をまとめたパンフレット作り) ・「過去」(大蔵のまちの歴史を調べ、年表にまとめた。) ○「大蔵のまちの未来」 ・自分達が理想とする「未来の大蔵のまち」 ○「現在」「過去」「未来」の学習を通して、気づいたことや思い、願いなどを発表し「大蔵ふるさと検定(仮称)」の実施についての紹介や意義・目的、内容等を紹介する。 </div>	<p>いをしておくようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 知ってもらうための内容や伝える方法等について、今後具体的に考えていくことを告げ、意欲的に活動ができるようにする。 ○ 「大蔵ふるさと検定(仮称)」実施を知らせる広報活動として、ポスターを作る等の方法が考えられるが、広報の場として地域の方だけでなく多くの方が来られる「100周年記念式典」があることを知らせ、自分達の思いを伝えるには効果的な場であることを共通理解し、活動への意欲を高めさせるようにする。 ○ 「100周年記念式典」であることから内容については教師が指示していくが、児童の意見も取り入れながら考えていくことで、主体的に取り組ませるようにする。 ○ 検定を受ける人々の意欲の向上をはかるために検定の名称を考えさせると共に、児童も意欲的に取り組むことができるようにする。 	<p>【考】伝えたいことが伝わるように、内容や情報の取捨選択をすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「100周年記念式典」という趣旨に相応しく、自分達の学習の成果や思い、願い等が伝わるような内容を考えている。(発言内容・ワークシート)
<p>伝 え 合 う</p>	<p>3. 「100周年記念式典」に向けての準備をし、「100周年実行委員会」の方に対して事前プレゼンテーションをする。⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) プレゼンテーションの発表内容を話し合い発表原稿や資料の作成、既存資料の選択をする。 (2) 各グループでまとめたものを基にして、発表原稿の内容を選び原稿を完成させる。 (3) 「大蔵ふるさと検定(仮 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当日来場された方や地域の方に、「現在」「過去」の学習でわかったことや気づいたこと、自分達が理想とする「大蔵のまちの未来予想図」について発表し、これらを伝えるために「大蔵ふるさと検定(仮称)」の紹介をするという意義や目的を再確認させる。 	<p>【考】今までの学習を振り返り、目的や条件に沿って、収集した情報や得た知識などを生かして、企画・運営することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「100周年記念式典」に向け、目的意識・相手意識をもち、グループで話し合うことができる。 ・計画したことを実現させるために、友だちと共に協力して意欲的に活動を行っている。(発言内容・

生 か す	<p>称)」の紹介内容を考える。 (考えられる紹介内容)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○「大蔵ふるさと検定 (仮称)」の紹介 ・なぜするのか(理由・ 目的) ・簡単な内容の紹介 等</p> </div> <p>(4) 事前プレゼンテーション の練習をする。</p> <p>(5) 事前プレゼンテーション を行い、実行委員の方に感 想を聞いたりアドバイスを いただいたりする。</p> <p>4. 事前プレゼンテーション の結果をもとに修正・準備 をし「100周年記念式典」 の中で発表・紹介する。③</p> <p>(1) 実行委員の方のアドバイ スを生かし、より良い内容 に修正し、準備を進める。</p> <p>(2) 「100周年記念式典」 の中で発表・紹介する。</p>	<p>○ 発表・紹介はプレゼンテー ションの形で行うことを知ら せて、目的意識・相手意識を もたせるようにする。</p> <p>○ 「現在」「過去」「未来」の 3つのテーマ別グループに分 かれ、それぞれのグループで 「100周年記念式典」に発 表したいことを発表原稿とし てまとめ、必要な場合は提示 資料を作成、既存資料の選択 をさせるようにする。</p> <p>○ 各グループがまとめた内容 を文章としてつなぎ、発表原 稿を完成させる。提示資料は 児童の発表と共に提示でき るように準備をしておく。</p> <p>○ 全員で流れを確認し、話し 方や資料の提示はどうか確認 させるようにする。</p> <p>○ 「現在」「過去」「未来」の 発表が終わった後に「大蔵ふ るさと検定(仮称)」の紹介を するが、制限時間内で発表と 紹介をするので、どのような ことを紹介するか話し合い絞 り込んでいくようにする。</p> <p>○ 発表や紹介内容をグループ や個人で役割分担させ、お互 いにアドバイスをしながら練 習をさせていくようにする。</p> <p>○ 実行委員の方には、予め発 表や紹介の概要などを知らせ ておき、指摘やアドバイスが いただけるようする。</p> <p>○ 内容だけでなく、強調した いことははっきりとさせ、声 の抑揚や資料の提示のタイミ ングなどを考えさせるように する。</p>	<p>ワークシート)</p> <p>【考】自分達が伝えたいこ とを、目的や相手を考え て内容を考えている。</p> <p>・学習してきたことを「1 00周年記念式典に来ら れた方々に伝える」とい う視点で文章を書いたり、 必要な提示資料を作 ったり選んだりしている。</p> <p>・事前プレゼンテーション で、実行委員の方に対し てどのような発表や紹介 の仕方がよいか考えて練 習したり、グループや個 人でお互いにアドバイ スをしたりしている。(発言 内容・行動観察・ワーク シート)</p> <p>【考】相手意識や目的意識 をもって、自分達が伝え たいことを表現すること ができる。</p> <p>・「100周年記念式典」の 場で来場された方々に対 して、伝えたいことを適 切に表現することができ</p>
-------------	---	--	--

つかむ		<p>○ 式典後、感想を書かせ、達成感を次への課題へと導くようにする。</p>	<p>ている。(行動観察)</p>
	<p>第4次 「大蔵ふるさと検定 (仮称)」を実施して大蔵のまちの素晴らしさを伝え、「未来」につなげよう。</p>		
さぐる	<p>1. 「大蔵ふるさと検定 (仮称)」の実施に向けて具体的な内容や実施方法を決め準備をする。 ⑰</p> <p>(1) 「大蔵ふるさと検定 (仮称)」の実施に向けて、どのような内容がよいか、作業や行程が必要か話し合い見直しをもつ。 (考えられる内容と具体案)</p> <div data-bbox="204 817 609 1422" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○問題作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題数・内容 (レベル) <p>○合格者の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定のルール作り ・受験のしくみ ・問題集 (参考書) の作成 ・受験票、・結果の通知方法 <p>○検定実施日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場・受験者確保 ・商品、賞状作成 <p>○広報の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大蔵市民センター利用の方への呼びかけ ・ポスター、ちらし、等 </div>	<p>○ 実施するにあたって、決めなければいけないことは何か考えさせ、項目が出ない場合は、教師から提案する。</p> <p>○ 「大蔵ふるさと検定 (仮称)」は多くの方を対象とするので、「楽しくて、よくわかる」ことをポイントとして考えさせるようにする。</p> <p>○ 役割を分担するために、「ひと・もの・こと」の3分野に分かれ、グループで問題の内容を考えたり答えを確認したりして作業を進めさせていくようにする。</p> <p>○ 餅つきも同時に行われるので、検定問題作りや、餅つきの作業工程をしっかりと考えさせ、当日までに何をどう進めていけばいいのか、いつまでに完成させなければいけないのか等、綿密な計画のもとで意識と意欲の持続を図っていくようにする。</p> <p>○ 事前に保護者やPTAの方、地域の方に対して受験を募るように案内状を作り準備をしておくようにする。</p> <p>○ 作った問題やその答えが正しいかどうか、問題や内容に応じて、大蔵市民センターの職員の方や校長先生、土佐野</p>	<p>【学】目的を明確にもちながら、進んで調べたり考えたり、話し合ったりし、実施に向けて意欲的に活動することができる。</p> <p>・「自分達の理想を実現させるため」という意識の中で、誰もが「楽しくて、よくわかる」という視点で考えたり取り組んだりしている。</p> <p>・ 「大蔵のまちの未来」を実現させるために、取組の趣旨を認識し、今の自分達にできることは何かを考え、自覚した上で目標を見失うことなく計画したことを実行しようとする。(ワークシート・行動観察・発言内容)</p>
	<p>(2)検定の準備をする。</p> <div data-bbox="204 1612 609 1881" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2月の授業参観 (土曜日授業) に予定されている「もちつき大会」の際に「大蔵ふるさと検定 (仮称)」が実施できるように、計画・準備をしていく。</p> </div> <p>(3) 完成した検定問題の監修をお願いする。</p>		

<p>伝え合う</p>	<p>2. 「大蔵ふるさと検定（仮称）」及び「餅つき大会」を実施する。</p>	<p>さん、芳賀さんなどに見ていただいたり、八幡区役所に認定依頼をお願いしたりして、信頼性のあるものにしていくようにする。</p> <p>○ それぞれの仕事内容によって係を分担させ、計画表を基にし、進行状況を確認しながら作業を進めさせていくようにする。</p> <p>○ 検定結果をまとめ、賞状や記念品作りを通して、今回の活動の成果をまとめさせるようにする。</p>	
<p>生かす</p>	<p>5. 自分たちの学習活動をふり返り、活動の喜びや自己の成長を味わう。 ③</p> <p>(1) 「大蔵ふるさと検定（仮称）」及び「餅つき大会」の成果について話し合い、「大蔵のまちの未来予想図」実現に向けて役立ったかどうか評価しあう。</p> <p>(2) これまでの学習を振り返る。</p> <p>(3) 今後（卒業後）、大蔵のまちに対して自分がどのように関わっていきたいか思いや考えを文章でまとめる。</p>	<p>○ 成果と「大蔵のまちの未来予想図」を比べながら、自分達がした活動は、未来のためにどのように役立つか、役立ったかを話し合わせるようにする。</p> <p>○ これまでの学習である「現在」「過去」「未来」について、自分の考えや思いがどのように変化してきたかを考えさせ、自分の成長を自覚させるようにする。</p> <p>○ この学習を通して、大蔵のまちに対してどのように関わっていきたいか自由に書かせ、学習のまとめとする。</p>	<p>【生】これまでの自分の成長を自覚し、学習したことを生かしながら、大蔵を自分の「ふるさと」として愛し、今後も自分のできることを考えながら生活をしていこうという意識をもつことができる。</p> <p>・これまでの学習を通して、自分の成長を自覚し、大蔵のまちは自分の「ふるさと」であり、かけがえのないものであるという意識をもちつつ、まちづくりのために、自分のできることは進んで実践しようとする意欲をもつことができる。(ワークシート・発言内容・行動観察)</p>

5. 本時の学習

平成24年11月16日（金） レインボールーム於

(1) 主眼

自分が考えた「理想の大蔵のまち」をイメージした「大蔵のまちの未来予想図」を提案して個々の理想をグループや学級全体で共有し、理想の実現化に向けての今後の見通しをもつことができるようにする。

(2) 本時の視点

前時までには子ども達は、大蔵のまちの「現在（今）」「過去（歴史）」について調べ、その中で大蔵のまちの「魅力」と「課題」について話し合ってきた。そして『大蔵のまちの素晴らしさを未来にもつなげるために「大蔵のまちの未来予想図」を作り、多くの方に伝えよう』という学習問題を意識して、一人一人が現在の「魅力」を残し「課題」を解決した「大蔵のまちの未来予想図」を考えた。(手立て1：子どもの思いや思考の流れに沿った単元づくり)

本時では、一人一人が考えた「大蔵のまちの未来予想図」をもとにグループの中で話し合う。その際、なぜそのように考えたのか根拠や理由をしっかりと述べるようにし、お互いの思いやこだわりを伝え合い意見交換をしていく。そして「大蔵のまちの未来予想図」に書い

ている理想のまちへの視点や考え方につながる「見出し（キーワード）」をもとにして、内容の分類・整理を行う。

その後グループごとに分類・整理したものを発表し、学級全体でさらに分類・整理して個人やグループの考えを、学級全体でまとめていくことにより共有化していく。

終末は、今後「大蔵のまちの未来予想図」の実現に向けてどのような活動をしていけばよいのか、今後の活動の方向性をしっかりと理解させていくようにする。（手立て2：コミュニケーションを通して学び合う活動の重視）

（3）展 開

主な学習活動と予想される児童の反応	教師の支援と評価
<p>1. 前時をふり返り、本時のめあてを確認して、学習の見通しをもつ。 〈めあて〉</p>	
<p>「大蔵のまちの未来予想図」について提案し合い、学級全体で共通のテーマにまとめよう。</p>	
<p>2. グループでの提案の仕方とまとめ方、及び発表の仕方を確認する。</p> <p>① グループの中で一人一人が考えた「大蔵のまちの未来予想図」を提案する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◎予想される児童の提案内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大蔵川がきれいで、自然いっぱいな大蔵のまち。 ・ 子どもから高齢者まで、安全で安心な暮らしができる大蔵のまち。 ・ 歴史豊かな大蔵のまち。 ・ 活気あふれる大蔵のまち など。 </div> <p>② グループで質問したり相違点をさがしたりして個々の提案を分類・整理し、内容ごとに見出し（キーワード）を付ける。</p> <p>③ 代表者が発表できるように準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループでまとめた見出し（キーワード）を短冊に書き、前に貼って発表する。 <p>3. グループごとに話し合ったことを代表者が発表する。</p> <p>4. 出された見出し（キーワード）を、学級全</p>	<p>○ 友達の提案内容に対して自分の考えをもたせる手立てとして、事前にそれぞれの提案を提示しておき、自分の考えをもたせておくようにする。</p> <p>○ 始めの話し合いの目的「一人一人が考えた『大蔵のまちの未来予想図』をグループで提案し合い、同じ点や似ている点など内容を分類・整理する」ことをしっかりととらえ確認させるようにする。</p> <p>○ 友達の考えを聞き落とさないようにするために、簡単なメモをとるようにさせ、自分の考えと比べながら聞くようにする。</p> <p>○ 自分の考えを提案するときは、「自分の考えた理想の『大蔵のまちの未来』とは（見出し）」、「具体的な構想となぜそう考えたのか（理由や根拠）」、の2つの観点で提案を行うようにする。</p> <p>○ グループ内の話し合いでは、ホワイトボードにキーワードをメモしながら話し合わせることで、分類・整理しやすいようにする。</p> <p>○ 個々の提案内容を大きなくくりで絞り込めず迷っている場合は、上位2個程度にしぼらせるようにするが、どうしても絞れない場合は、全体での話し合いで考えていくことを押さえ残してもよいことにする。</p> <p>○ それぞれのグループで話し合いまとめられた見出し（キーワード）を発表させ、聞く側は、自分のグループの見出し（キーワード）と比較しながら聞くようにする。</p> <p>○ 出された見出し（キーワード）を分類・整</p>

<p>体で共通のものにまとめていき確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>予想される児童の反応（学級全体で）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史がある ・ 安全・安心に暮らせる ・ 自然豊か ・ 活気あふれる <p style="text-align: right;">など</p> </div> <p>5. 本時の学習のまとめをして、次時の学習の見通しをもつ。</p>	<p>理して、目指す未来の理想の「大蔵のまち」について、全員のものとしてテーマを決めて確認をさせ、共通理解を図るようにする。</p> <p>【学】それぞれが考え願っている理想の「大蔵のまちの未来」の内容をグループで分類・整理し、学級全体で共通理解をするために、友達の意見と比べたり自分の考えを進んで発表したりしている。（発言内容・行動観察）</p> <p>○ 本時の活動をふり返らせ、「大蔵のまちの未来予想図」の実現化に向けての、具体的な活動計画を考えていくことを確認する。</p>
---	---

7. 研究の実際と考察

(1) 主題に迫るための具体的な手立てについて

〔手立て1〕

- 本単元を「現在」「過去」「未来」の3部構成で進めると共に、探求的な学習のプロセスを踏んだ学習の流れとし、子どもの思いや思考の流れに沿った単元づくりを行う。
- ・ 第一次の「つかむ」段階では、これまでの学習や日常生活の中で実際に出会っている「ひと・もの・こと」をしっかりと想起させるために、大蔵のまちについて「ウェビング」を行い自分の課題をつかませる。
- ・ 第二次の「さぐる」段階では、社会科で学習している日本の全国史と並行して、北九州市史や大蔵地域の歴史も体系的にまとめ、「歴史・出来事年表」を作りグループごとに発表する。

〔手立て2〕

- 体験活動に効果的な人材の活用と、「整理・分析」のプロセスでの協同的活動の重視
- ・ 第一・二次の「さぐる」「伝え合う」段階では、「パンフレット作り」「歴史・出来事年表作り」等の準備や発表、様々な情報をまとめる際に、グループや学級での学び合いの場を設定する。
- ・ 第二次の「さぐる」段階では、大蔵の歴史に詳しい方の話を聞いて自分達の課題を解決するようにし、調べ活動の充実化を図る。
- ・ 第三次の「つかむ」段階では、大蔵のまちが、現在もっている「魅力」を残し、課題を解決した理想のまちを「大蔵のまちの未来予想図」としてまとめ、自分達で実現させていくような取組を考え実行していく。

〔手立て3〕

- 児童の思考の広がりやこだわり、深まりの見取りと、児童の学習状況に応じた適切な指導・助言を行う。
- ・ 連続的・長期的な見取りを生かした支援と、学習や児童の意識の流れに沿ったワークシートを使った評価の工夫を行い、意欲の持続化と達成感を味わわせるようにする。

(2) 研究の実際

〔手立て1〕

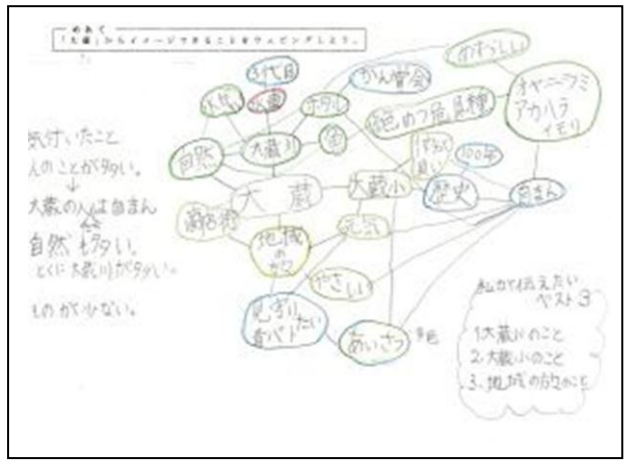
本単元の導入の段階では、「現在」の大蔵地域を取り扱う際に、児童が意欲をもって追求し続けることができるように、自分たちの生活の場でもある「大蔵のまち」について、今までの総合的な学習の時間や生活経験などから、どのようなイメージや思いをもっているかの自己再確認す

るために、ウェビングをさせた。(右図)

そしてイメージした「大蔵のまちのひと・もの・こと」の中で、「大蔵のまちの魅力」として知らせ

たいと思う事柄を選ばせ、グループでのパンフレット作りをしていき目的意識をもたせるようにした。

「さぐる」の段階のパンフレット作りでは、国語科と合科的に取り扱い、「大蔵のまちの魅力」を伝えるための構成について考え、意欲的に書き進めることができるようにした。(下図)



パンフレット完成後は互いに読み合い、よさを認めながら構成や記述などの表現の仕方に着目して「大蔵のまちの魅力」が伝わるかどうか評価し合う活動を通して、言語活動の充実を図ると共に大蔵の魅力について考え直したり深めたりした。(ワークシートの記述より)

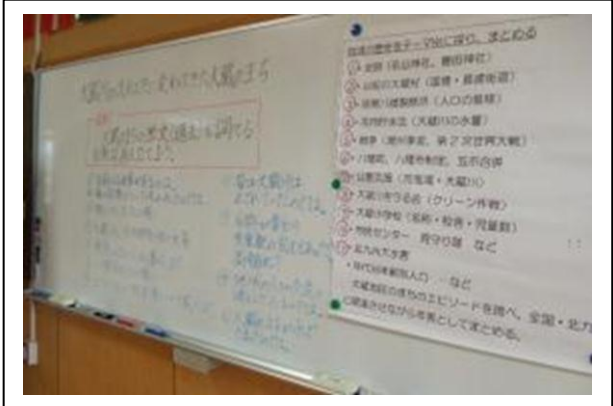


大蔵のまちの歴史を調べる活動では、地域の方から聞き取ったことや、社会科「日本の歴史」で学んだことなどの情報を比較・分類したり、関連させたりしながら学習を進めていくことができると考えて取り組ませた。(右ワークシート)

〔手立て2〕

大蔵のまちの「歴史」について調べる活動では、テーマ別のグループ編成をした。(写真1)

グループ名	調べたこと	調べた方法	調べた結果	調べた感想
グループ1	大蔵の歴史	図書館で調べた	大蔵は古くから栄えた町で、大蔵公が活躍したことが分かった。	大蔵の歴史を学ぶことができた。
グループ2	大蔵の自然	散歩しながら調べた	大蔵にはきれいな川と山が多いことが分かった。	大蔵の自然を堪能できた。
グループ3	大蔵の文化	大蔵のまちを調べた	大蔵には伝統的な文化がたくさんあることが分かった。	大蔵の文化を学ぶことができた。
グループ4	大蔵の産業	大蔵のまちを調べた	大蔵には様々な産業があることが分かった。	大蔵の産業を学ぶことができた。



まず一人調べをして、情報を一人一人が持つておくようにし、その後グループで情報を共有させた。(写真2・3) 次にもっと調べたいことや未だわからないことについて整理し、協同して調べ活動を行っていくようにした。

(写真2)



(写真3)



調べ活動の途中で大蔵の歴史や郷土に関して詳しい地域の方をお呼びして、もっと知りたいことや解決できていないこと、大蔵のまちの歴史を通しての思いや願いなどを尋ねたりお聞きしたりする機会を設け、地域の方の存在の大きさを感じさせ、新たな課題や活動の方向性を見いだしていくことができるようにした。(写真4) 収集は様々な情報ツールから得るようにさせ、グループで協力して必要な情報の入手先や入手方法を検索したり、収集した情報の蓄積や取捨選択をさせたりするようにして、次の段階で効果的に活用できるようにした。調べたことをまとめる際は、まとめたことを集約させるために、ゴールである「大蔵のまちの歴史・出来事年表作り」を意識させていった。また、事象のみを取り扱うのではなく、そのときの地域の先人の思いや願いを想像の範囲でも考えさせるようにしてまとめさせることで、大蔵のまちや人々に対する愛着心・郷土愛をもたせていくことをねらいとした。また紙面だけでなく、グループで役割分担し、作った年表を見せながら発表させることで、聞き手に自分達の思いや気づきをしっかり伝わるように相手意識をもたせた。(写真5)

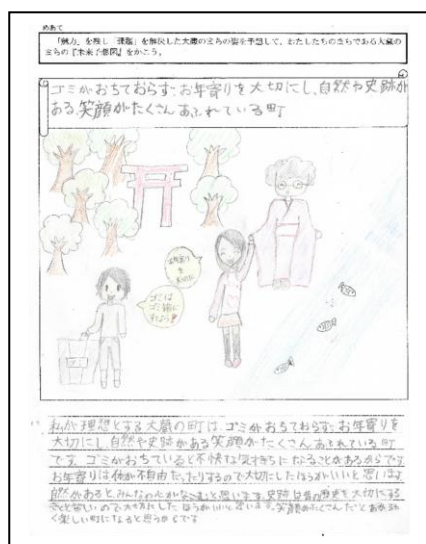
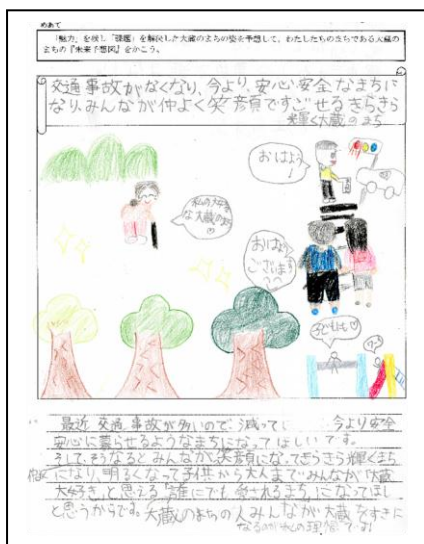
(写真4)



(写真5)



「現在」「過去」の学習をふり返り、大蔵のまちの「未来」について考えていく学習をすることを確認していった。「未来」の学習では、まず「60周年誌」に掲載されている、そのときの6年生が書いた「理想の大蔵のまち」の作文を読み聞かせた。40年前に書いた「理想の大蔵のまち」が、現在は実現化していることや、また問題として今も残っていることもあることを知ることで、「魅力」を残し「課題」を解決した理想の大蔵のまちの「未来」のイメージを、今度は今の自分が考えていく活動へとつなげていった。「大蔵のまちの未来予想図」として絵や文で表現させ、自分の考えや思いとしての「理想」を明確にさせた。(次頁ワークシート) 本時では、自分が考えた「大蔵のまちの未来予想図」をグループの中で提案し、提案を基にして共通点やキーワードになる言葉を話し合わせた。



【本時・・・「大蔵のまちの未来予想図」を発表し、実現に向けての課題意識をもつ場面（一部抜粋）】

1 個々で考えた「大蔵のまちの未来予想図」をグループ内で提案し、互いに質問したり相違点をさがしたりして、個々の提案を分類・整理し、内容ごとに見出し（キーワード）を付ける。

○ 各グループに「司会者」と「記録者（ホワイトボード）」の担当があり、話し合いが効率よくできるようにした。

〈Aグループ〉
 ・ごみのない ・安心・安全
 ・交通事故のない ・みんな大蔵のことが好き
 ・自然がたくさん ・子どもも楽しい

○ 誰もが大蔵のまちを愛してほしい
 ・楽しく・安全
 ・安心
 ・ごみなどポイ捨てのない

〈Bグループ〉
 ・ごみがないと、町はすっきりして住みやすい
 ・あいさつをされると気持ちがいい
 ・事故が多い

・あいさつ
 ・ごみ
 ・事故
 ・みんなが住みやすい

〈Cグループ〉
 ・笑顔たくさん
 ・安全だと大蔵の町に住んでいる人が安心して暮らせる
 ・公園や学校に遊具を造ると子どもが楽しく遊べる
 ・ごみはごみ箱へ ・自然を増やす
 ・お年寄りを大切に ・史跡を大切にす

・ごみ ・安心 ・親切（お年寄り）
 ・自然 ・笑顔 ・史跡
 ・安全 ・遊具

〈Dグループ〉
 ・ごみがない ・あいさつ ・握手
 ・笑顔 ・空気・川がきれい
 ・緑が多い ・坂がない
 ・遊具や公園を増やす
 ・ガードレールをつける

・まちがきれい
 ・楽しいまち
 ・安全なまち

2. 代表者の発表後、各グループで出された見出し（キーワード）を学級全体でまとめていく。

C 1 「安心と安全」が3グループ出ています。

C 2 「ごみ」についても出ています。

C 3 「自然がたくさん」が2グループあります。

C 4 「楽しいまち」と「笑顔がたくさん」は一緒にしたらいいと思います。

T なぜ、そう思いましたか。

C 4 楽しいと、笑顔になるからです。

C 5 「遊具」があると、子どもは楽しくて笑顔になるから一緒にしたらいいと思います。

C 6 「安全」と「住みやすい」は一緒だと思います。

T では、「住みやすい」とはどういうこと？

C 7 ごみがなくて、あいさつをして、自然がいっぱいで安全なまちが「住みやすい」ということです。

C 8 「安心」と「事故がない」は同じだと思います。

T 「あいさつをされると気持ちがいい」と「お年寄りを大切に」は？

C 9 あいさつをきちんとし、お年寄りを大切にすると、お年寄りは楽しくなると思います。

T 「史跡」と「大蔵を愛する」は？

C 10 大蔵にある史跡を大切にすることとは、大蔵を愛する思いと同じだと思います。

T では、いくつかの意見や出してくれたキーワードを基にして、目指す未来の理想の「大蔵のまち」について、共通のものにまとめていきましょう。

(C全員で、Tは赤でくくりながら)

- ・安全・安心
- ・ごみのないまち
- ・自然がたくさん
- ・笑顔がたくさん
- ・人・もの・ことを大切に

T これらの言葉やそれぞれの思いを込めて、みんなで活動していくには、どのような活動や方法があるか、今後考えていきましょう。

「つながる」のではなく、「つなげる」活動をしていきましょう。



その後、その「理想」である「大蔵のまちの未来予想図」に向けて実際に行動を起こしていく活動に取り組もうという課題意識をもたせた。そのために、「大蔵のまちの未来予想図」の実現または少しでも近づかせるためには、自分達が知り得た「魅力」や「よさ」、そして現在も残っている「課題」について知ってもらうことが必要であり、今後につながるということを認識させていった。活の内容や方法を考える際は、「今年の6年生の活動のテーマは『地域参加型』としている」ということを告げ、そのことを念頭に入れたアイデアを出させていくようにした。

出てきた活動案の中から「楽しくてわかりやすい」ということをポイントとした、「ご当地検定」という方法や内容を紹介した。今までにない、また未経験の児童ばかりの活動内容であるので、見本を見せたり実際検定として出された問題を紹介したりして、活動への意欲と今後の活動の見通しをもたせるようにした。広報活動として12月にある「大蔵小学校100周年記念式典」の中で、今まで学習したことや「大蔵ふるさと検定(仮称)」の活動をしていくことの紹介をすることを伝え、意欲の持続を図るようにした。「創立100周年記念式典」事前プレゼンテーションを100周年実行委員の方や保護者の方の前で行い、このような内容・報告で自分達の思いは伝わるのかアドバイスをいただく場を設けた。そして準備を進め、「創立100周年記念式典」の中で発表・紹介を行った。

式典終了後は、次の活動である「大蔵ふるさと検定（仮称）」の実施内容や実施方法について話し合いを行った。そして実施のための具体的な内容や方法等を長期の休み（冬休み）を利用して、家族にも相談しながら考えさせるようにした。

冬休み後にワークシートを回収し、子ども達がどのような内容や方法を考えてきたか確認をしたところ、いろいろな考えが書かれていた。

（ルールに関すること）

- ・初級・中級・マスター級に分ける。
- ・選択形式や記述式と問題によって分ける。
- ・低学年・高学年用、保護者の方用を作る。等

（受験の仕組みや広報に関すること）

- ・カレンダー様式にして、受験日や結果を書く。
- ・チラシを作って配る。
- ・ポスターを貼って知らせる。等

（問題の内容に関すること）

- ・乳山神社の階段の数は。・大蔵小学校の前にある橋の名前は。
- ・選択形式や記述式と問題によって分ける。青パトや見守り隊は、いつ結成されたでしょう。
- ・低学年・高学年用、保護者の方用を作る。等

このように、さまざまな内容や方法を考えてきたので、これを生かす場面として計画通り、2月16日（土）の土曜日授業で行われる「もちつき大会」を選ぶことにした。実施の場をこの「もちつき大会」を選んだ過程としては、多くの保護者の方や地域の方、PTAの方などが来られ、大蔵のまちのよさを知ってもらうにはよい機会であること、また今年の「もちつき大会」は、自分達が「つくる」という意識で、ゲームや発表の場を設け「もちつき大会」を盛り上げることを目標としていったので、このことを達成させるには、そして「大蔵ふるさと検定（仮称）」の実施にはよい場であると考えて計画を進めていった。

まず、問題の選択をしていった。冬休みの課題として出したワークシートの中から問題を選んでしたが、「大蔵のことをしてもらうため」という目的があるので、「大蔵ならでは」といった問題を「人・もの・こと」の3点から選ぶようにアドバイスをした。（写真6・7）

答えを考えたり書いたりしている際に、出題したいがどうしても答えが分からない問題にぶつかってしまったので、以前にゲストティチャーとしてお迎えした芳賀さんと土佐野さんに電話でおたずねをした。地域におられるお二人ならおわかりになるだろうという思いがあったようである。

（写真6）

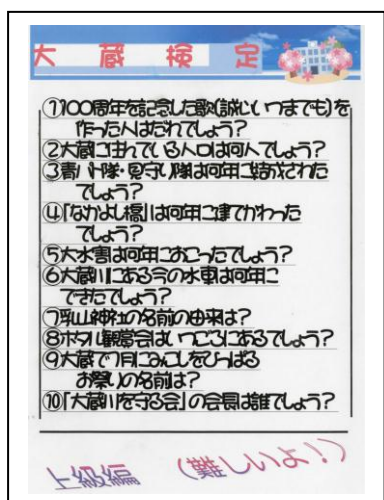


（写真7）



完成した「大蔵ふるさと検定」は、「上級」と「初級」の二つがあり、来られた方にどちらかを選択して答えてもらうようにした。そして名前はすっきりと分かりやすい方がよいということから「大蔵検定」と決定した。（写真8・9）

(写真 8)

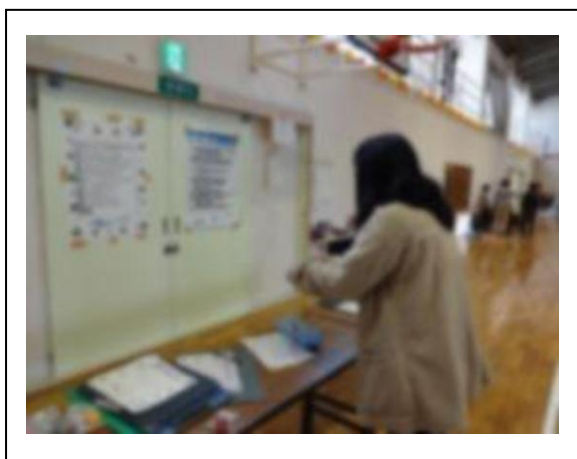


(写真 9)



「もちつき大会」当日、「大蔵検定」が行われた。保護者の方や地域の方、子ども達など合わせると100名程が検定をしてくれたようである。(写真10～13)

(写真 10)



(写真 11)



(写真 12)



(写真 13)



様々な活動を通して、自己の高まりや成長を感じ取ることができるように、また学習の足跡として必ずワークシートへの記入をさせていった。第一次では、各自でウェビングをさせて、これまでの学習や日常生活の中で認識している大蔵の「魅力」を再認識させ、ウェビングで出てきた事象を「ひと・もの・こと」に色分けさせ分類させることで、自分の意識がどんな分野に向いているのか認識させるようにした。そして各自に興味ある3つの事象を選ばせて、教師がグループ作りをすることを告げておく。パンフレット作りをする活動をする際に、興味・関心が共通でありながらも、関心度や学力差がグループ間で大きくならないように、グループ編成は教師が行った。

そして国語科の学習との合科的な取り扱いをしたので、見通しをもたせながら活動させるために、各グループの進行状況がはっきりとわかるように表にして、毎時間進行状況の確認をさせていった。(ワークシート1)

第二次では、前次のまとめの段階で児童の中に新たな疑問や問題が芽生えているので、導入時にはその問題意識が継続していくようにするために、「現在」の学習をふり返り大蔵のまちの昔はどうだったかを調べていく学習をしていくことを確認し、今後の見通しをもたせるようにした。(ワークシート2) また「大蔵のまちの歴史年表を作る」といった、学習の終わりに全員で調べてまとめたものを集約していくというイメージしやすいゴールを設定し、協同的な活動が続きやすい環境をつくっていった。集めた情報はワークシートにまとめ整理させることで、わかったこと・未だわからないこと・さらに調べたいことなどをはっきりとさせ、GTへのインタビューする活動への目的意識をはっきりとさせた上で、インタビューの計画を立てるようにした。(ワークシート3)

「歴史・出来事年表」作成及び発表後は、大蔵の歴史調べや歴史年表作りをふり返り、大蔵の歴史をつくってきた方々に対して親しみや尊敬の念を抱かせ、今後の大蔵のまちの明るい「未来」を考える学習への意欲を高めさせるようにして、次の活動への目的意識をもたせるようにした。

第三次では第二次と同様に、前次のまとめの段階で児童の中に新たな疑問や問題が芽生えているので、導入時にはその問題意識が継続していくようにふり返りを丁寧に行った。(ワークシート4)

1

学習活動(課題の材料を組み合わせてまとめる中や学習など)とその進捗についてグループで話し合い内容を共有しよう。	大蔵のまちの歴史	大蔵のまちの歴史	大蔵のまちの歴史	大蔵のまちの歴史	大蔵のまちの歴史
パンフレット完成までの進捗					
1. 確認(1)・・・資料・資料② ○資料を渡して、どのようなものがあるか、文字がわかるかを確認する。 ○材料を取りよぶの進捗を確認する。	○	○	○	○	○
2. 資料集め② ○資料についての情報を集める。 2. 資料(情報)集め② ○集めた情報、材料の中から、調べたいものを集める。		○	○		
4. 集約①(1)・・・ ○集めた資料の集約を進めよう。 ・資料の集約を進めようかを確認する。(資料作り) ・集約の進捗を確認する。		○	○		
5. 記述・集約①(1)・・・ ○集約した資料をもとに集約を進めようとして記述を進めよう。 ○集約を進めよう。人に読んでもらったりして、よりよくする。					
6. 完成 ○グループでの集約(1)・・・(仕上げの集約確認)②					

2



3



4

